

令和7年11月5日14時00分

近 畿 地 方 整 備 局

水都大阪を災害から守る流域治水の取組を学びましょう！

～「川の駅はちけんや」で11/8から防災展を開催～

- ◆ヒトとモノをつなぐ航路として“川”が重要な役割を果たし発展した「水都大阪」。
その水辺の“いま”を伝える「Hi ship! Project」では、毎年、川の駅はちけんやで
水都大阪に関する企画展を開催しています。

◆今年は、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域に関わるあ
らゆる関係者で取り組む「流域治水」をテーマに、水都大阪を水害から守る取組などを
パネルで紹介します。

- 開催期間 令和7年11月8日（土）～令和7年12月21日（日）
午前10時～午後5時
- 開催場所 川の駅はちけんや 地下1階
〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東1-2
〔アクセス〕京阪電車 天満橋駅11番出口または17番出口から徒歩5分
OsakaMetro 谷町線 天満橋駅2番出口から徒歩5分
- 入 場 料 無料
- 内 容 ・ あらゆる関係者で取り組む「流域治水」について紹介
・ 大阪府内で行われている流域治水の具対策について紹介
・ 淀川舟運の歴史と、新たに誕生した川のエレベーター「淀川ゲート
ウェイ」や、にぎわいの新スポット「十三船着場」について紹介
・ 非常時の備えとなる防災グッズの紹介と防災リュックの重さを体験

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局河川部 河川計画課 課長 西 広樹、課長補佐 平田 元気
電話：06-6945-6355

川から 陸から 水辺から、手をふることはつながること
Hi ship! Project ■13th season■企画展

水都大阪の防災展

ー流域治水を学ぼうー

本企画展では、「流域治水」に焦点を当て、その考え方を広めるとともに
私たちが暮らす水都大阪の街で行われている流域治水対策や、一人ひとりができる取組を紹介します。
川とともに生きている街・水都大阪に暮らす私たちが、みんなでみんなの命と暮らしを守ることを意識し、
安全安心に暮らしていくために「今」できることを学んでみましょう。

日時 2025年 **11月8日(土)** ▶ **12月21日(日)** 10:00~17:00

場所 **川の駅はちけんや B1F**
京阪電車/OsakaMetro谷町線天満橋駅下車17番出口より西へ約200m



入場無料



みんな知ってる? 流域治水って。

流域治水についてわかりやすくご紹介します！



その他、防災グッズをはじめ
非常時の備えについても展示し、
一人ひとりができる流域治水対策
についてお伝えします。

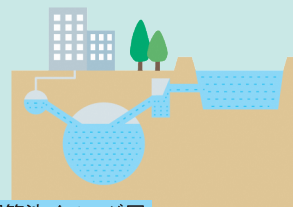


1

2

大阪府内では どんな流域治水対策が 行われているの!?

国土交通省や大阪府が取り組む
ハード面での流域治水対策を
ご紹介します。



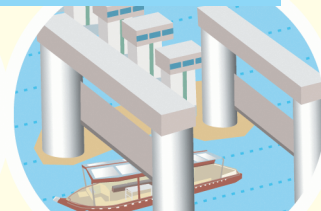
地下河川・調節池イメージ図

最新防災スポット

淀川に新たに誕生した2つの防災スポットをご紹介します



十三船着場



川のエレベーター
淀川ゲートウェイ(淀川大堰開門)

川から 陸から 水辺から、手をふることはつながること

Hi ship! Project

かつて物資や人を運ぶ航路として利用されてきた「琵琶湖・淀川流域」。現在も、私たちの生活になくてはならない重要な役割を果たし、その恩恵を受ける人々は現在、約1,700万人といわれています。Hi ship! Projectは、約1,700万人の人々と川との対話を通して水辺の「今」を伝えるプロジェクト。「手をふる(Hi ship!)」というシンプルなコミュニケーションを通して水辺の魅力や取り組みを発信し、川と人が織りなす物語を伝えていきます。



主催：国土交通省近畿地方整備局・大阪府 運営：特定非営利活動法人大阪水上安全協会・「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業事務局